

各 位

会 社 名 株式会社ヤマノホールディングス
 代 表 者 名 代表取締役社長 山野義友
 (J A S D A Q コード番号 7571)
 問 い 合 っ せ 先 取締役専務執行役員
 管理本部長 金 木 俊 明
 電 話 番 号 0 3 - 3 3 7 6 - 7 8 7 8

第2四半期業績予想と実績値との差異及び 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成27年5月15日に公表しました、平成28年3月期第2四半期累計の連結業績予想と、本日公表の実績において差異が生じたのでお知らせします。また、併せて、平成27年3月期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●第2四半期連結業績予想と実績値の差異について

平成28年3月期第2四半期（累計）連結業績予想との差異(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,580	△40	△55	△69	△2.00
今回実績(B)	10,418	△117	△121	△103	△3.01
増減額 (B - A)	△162	△77	△66	△34	—
増減率 (%)	△1.5	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	10,785	△133	△151	△144	△4.20

●通期連結業績予想の修正について

平成28年3月期通期連結業績予想の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,800	380	350	230	6.67
今回予想(B)	24,000	230	200	130	3.77
増減額 (B - A)	1,200	△150	△150	△100	—
増減率 (%)	5.3	△39.5	△42.9	△43.5	—
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	23,168	116	83	178	5.17

差異及び業績予想修正の理由

上期における売上高は、卸売事業及びスポーツ事業の業績回復が当初想定よりも鈍く、またDSM事業での拠点閉鎖や美容事業での客数減等もあり、売上高は予想を下回り推移しました。

一方で、平成27年8月4日公表の「当社子会社（堀田丸正株式会社）による子会社の異動（新設）並びに株式会社吉利の事業譲受に関するお知らせ」のとおり、卸売事業において1社を子会社化したことによる売上高の増加があり、また和装宝飾事業においては売上高、利益とも当初予想を上回る好調な推移となりましたが、全体の売上高減少をカバーするまでには至らず、収益においても予想を下回ることとなりました。

下期につきましては、卸売事業での子会社1社増加に加え、平成27年9月30日公表の「株式会社すずのきの株式取得(子会社化)に関する基本合意書締結のお知らせ」及び平成27年10月30日公表の「株式会社すずのきの株式取得に関する譲渡契約締結のお知らせ」のとおり、和装宝飾事業において1社を子会社化することとなったため、売上高は増加すると予想しています。

利益面では、新規連結子会社2社の業績の取り込みは、卸売事業では第2四半期から、和装宝飾事業では第4四半期からとなり、季節変動要因から当期連結業績においては減少要因となることが予想されることに加え、M&A推進に伴うアドバイザー手数料等の取得関連費用の増加やのれん償却費の発生が見込まれます。これ等の要因及び最近の業績動向を踏まえ、通期の連結業績予想は上記の通り修正することといたします。

(注) 上記の連結業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上